

令和6年第9回国分寺市農業委員会総会議事録

令和6年9月20日(金)午前9時30分

第9回国分寺市農業委員会総会を市役所書庫棟会議室に召集する。

出席委員 (15名)	1番 吉野 賢一	2番 関田 和雄	3番 鈴木 孝幸	4番 濱野 周泰
	5番 鈴木 秀男	6番 草ヶ谷 誠一	7番 須崎 忠男	8番 平野 孝行
欠席委員 (0名)	9番 鈴木 弘子	10番 笛田 弥生	11番 川窪 光一	12番 小柳 弘
	13番 中村 秀雄	14番 栗原 啓輔	15番 本多 佳郎	
事務局 出席職員	係長 榎本 紘幸 係 有田 元之			

< 議事日程 >

日程第1 開会と署名委員指名

日程第2 前回会議録の承認

日程第3 会長等の報告

日程第4 議案審議

議案第1号 相続税の納税猶予に係る引き続き農業経営を行っている旨の証明書の交付について

日程第5 協議事項

協議第1号 農地利用状況調査の実施について

協議第2号 第19回農ウォークの実施について

協議第3号 地区別懇談会の実施について

協議第4号 第四次国分寺市農業振興計画策定検討委員会委員の選出について

日程第6 報告事項

報告第1号 農地法第3条の3の規定による届出に係る専決処理について

報告第2号 農地法第4条第1項第7号の規定による届出に係る専決処理について

報告第3号 農地法第5条第1項第6号の規定による届出に係る専決処理について

報告第4号 令和6年度農業功労者表彰候補者の推薦について

報告第5号 今後の日程について

日程第7 その他

議長（鈴木秀男）は令和6年第9回国分寺市農業委員会総会の開会を宣言した。

○ 日程第1 開会と署名委員指名

議長は、議事録署名委員について、次の2名を指名した。

1番 吉野 賢一

2番 関田 和雄

- 日程第2 前回会議録の承認
事務局提示のとおり前回会議録は承認された。
- 日程第3 会長等の報告
 - 8月23日 J A夏祭り（全委員）
 - 9月3日 農業委員・推進委員研修（全委員）
 - 9月5日 広報研究会（平野委員、濱野委員、鈴木孝幸委員）
 - 9月19日 農業委員会会長職務代理・部会長研究集会（須崎会長職務代理、鈴木弘子委員、関田委員）

○ 日程第4 議案審議

議案第1号 相続税の納税猶予に係る引き続き農業経営を行っている旨の証明書の交付について

議長は、議案第1号1番を議題とすることを告げ、事務局説明後、1番の西元町分を小柳委員、内藤分を中村委員に現地調査報告を求めた。

小柳委員 議案第1号1番の西元町分について、9月5日に鈴木弘子委員、本多委員、私と事務局で現地調査を行った。自宅隣接の農地では、ブルーベリー・キウイフルーツ・アマンダ等の果樹類のほか、ナス・ピーマン等の野菜類が、西元町三丁目の東側農地では、トウモロコシのほか、イチジク・オトメリンゴ等の果樹類が、薬師寺児童遊園地東側の農地では、カキが栽培されており、全て適切に肥培管理されていた。

中村委員 議案第1号1番の内藤分について、9月5日に、私と事務局で現地調査を行った。当該農地は、キウイフルーツ・プラム等の果樹類のほか、ショウガ・イチゴ・スイカ等の野菜類が栽培されており、全て適切に肥培管理されていた。

議長 本議案について審議の結果、各委員の確認することに異議がないので、議案第1号1番について全員一致で承認とする。

○ 日程第5 協議事項
協議第1号 農地利用状況調査の実施について

議長は協議第1号を議題とすることを告げ、事務局に説明を求めた。

事務局 前回総会で決定した事項の最終確認をお願いしたい。なお、生産緑地を担当する市まちづくり計画課の職員と、J Aからの出席者を一覧表に追記した。また、指導文案については、前回総会で内容を決定しているが、生産緑地の管理に困っている方に対して、当会が推進している「都市農地貸借」に関する文言を追記した方が良いのではないかと考えるため、指導文書「裏面」の都市農地貸借に関する文言部分について、再協議を願いたい。

議長 当会では、農地保全の観点から、農地の肥培管理の指導を継続的に行ってきたが、高齢化や後継者不足等の問題を懸念し、少しでも都市農地を保全する方法を周知したいため、事務局提案の文言に私は賛成であるが、委員の意見を伺いたい。

濱野委員 この文章を載せることに賛成であるが、「マッチング」という言葉に少し違和感があるため、表現を変えることはできないか。世の中で「SNSマッチング」の様な言葉の使い方をする中で、高齢の方や後継者がおらずに農地の肥培管理をしたくてもできない方の心情を考えると、日本語の方が受け入れやすい気がする。

事 務 局 「マッチング」の文言を消しても、文章は成立するため、消しても問題ない考える。

濱野委員 「貸借対応を推進します」のような文言でもよいと思う。

議 長 確かに「マッチング」という言葉は気になる。削除しても、文章としては問題ないため、削除することとする。他に意見はあるか。

中村委員 納税猶予を受けていても貸借が可能であるということを記載した方がよい気がするが、いかがか。

議 長 非常に難しい点である。安易に貸借可能であることを記載することは、終生営農で、しっかりと覚悟を持って納税猶予制度を活用いただきたい点と、一方で、農地保全の観点から、納税猶予制度を活用していても農地を貸借できるという点を記載する必要性も感じる。

中村委員 鈴木会長の懸念は最もである。

議 長 事務局はどう考えるか。

事 務 局 入れたほうがよいと考える。農業委員会が都市農地の保全のため、貸借のマッチングを進めていくことは、生産緑地であれ、相続税納税猶予農地であれ、貸借を進めていくという大きな意味は変わらないことから、入れたほうがよいと考える。

議 長 他に委員から意見がなければ、その文言を入れることとし、次回総会で最終確認を行うこととする。

協議第 2 号 第19回農ウォークの実施について

議長は協議第 2 号を議題とすることを告げ、事務局に説明を求めた。

事 務 局 前回総会で決定した事項とタイムスケジュールの最終確認となる。また、共催団体からの出席者が確定したので、班編成表を配布している。本協議では、委員の役割分担と、アンケート内容を決定いただきたい。なお、今後のスケジュールとして、10月 1 日号市報に農ウォークの記事が掲載され、翌日から募集が始まる予定である。

議 長 班編制と役割分担を決めていきたい。

 協議の結果、以下のとおりとする。

	1 班	2 班	3 班
班 長	鈴木会長	栗原委員	関田委員
レモン剪定	鈴木会長	吉野委員	須崎職務代理
収穫補助	本多委員 鈴木孝幸委員	小柳委員	中村委員
タイムキーパー	濱野委員	鈴木弘子委員	中村委員 笛田委員
引率補助	川窪委員	平野委員	笛田委員

本多委員 私用で申し訳ないが、農ウォーク当日、後半で早退させていただくことをお含みおきいただきたい。

議長 共催団体の役割は、当会から指示するのか。

事務局 共催団体の各々の代表から挨拶をいただくことを想定している。2班には都市農政推進協議会会長、3班にはJA東京むさし国分寺地区統括支店長を割り振り、鈴木会長を含め、3団体の長が分かれるように班編制を行った。それ以外の方々については、参加者と農業者が触れ合うことが目的のため、特段、役割分担を検討いただかなくて問題ない。

議長 次に、アンケートについて意見を集みたい。これはフィードバックはあるのか。

事務局 11月総会の報告事項として、アンケートの意見の結果を報告予定である。

議長 異論がなければ、アンケート案のとおりとする。

協議第3号 地区別懇談会の実施について

議長は協議第3号を議題とすることを告げ、事務局に説明を求めた。

事務局 9月3日農業委員・推進委員研修の後に協議した内容からの変更点として、冒頭の出席者紹介が例年より長引くことが想定されるため、東京都農業会議の職員からの「農業者年金制度の特徴」の時間を20分から15分に短縮した。また、「借り手からの事例紹介」でお話いただく、後継者2名に対する質問事項の案を資料にまとめている。進行役として、農地部会員である本多委員・栗原委員にお願いしているが、担当地区を考慮し、JA開催では本多委員が、ひかりプラザ開催では栗原委員が進行役として質問等をお願いしたいと考えている。質問内容を含め、意見があればお願いしたい。本協議では、開会・閉会の挨拶の担当委員を決定すること、また、「農地相続経験者からのアドバイス」の担当委員には、どのように進めていくのか協議願いたい。

議長 開会・閉会の挨拶を決めたい。

協議の結果、以下のとおりとする。

11月8日 開会の挨拶 中村委員

閉会の挨拶 川窪委員

11月12日 開会の挨拶 濱野委員

閉会の挨拶 草ヶ谷委員

次に、借り手からの事例紹介の質問内容等について、意見を集みたい。

濱野委員 質問の手法になるが、「農地を借りようと思ったきっかけ」と「借りたいと思った最大の決め手」は、一部重複する内容となっていることから、「思ったきっかけと、その中で最大のものは何ですか」や「大きく影響したものは何ですか」など、聞き方を工夫し、連携したほうがよいかと考える。

議長 まとめられるということか。

濱野委員 例えば、まず「農地を借りようと思ったきっかけは何ですか」と質問し、一度回答を得た後に、「その中で最大の決め手となったのは何

でしょうか」と、連携しての質問にしてはどうか。

議長 一度、借り手側の目的を大まかに聞き、最大の決め手として具体的な内容などを深掘りするということか。良い案である。

事務局 今回の意見を踏まえ、進行役である本多委員と栗原委員と協議したいと思う。

議長 良い掛け合いになると思う。引き続き、よろしくお願いいたします。

中村委員 内容について、現在は、借り手側の事例紹介後に、東京都農業会議の職員の講演となっているが、順番を入れ替えた方が良いと考える。講演の中で、様々な制度説明があり、内容を理解し、制度の共通認識を持った上で、借り手の事例紹介にした方が、流れがよいと思ったがどうか。

濱野委員 講演が先の方が、制度の実情が分かるので、その方がいいかもしれない。制度の全体像としての話が講演であり、その中で貸借があり、実態について何うという流れの方が腑に落ちると考える。

事務局 「借り手からの事例紹介」の後に「農地相続経験者からのアドバイス」の流れとしても問題ないと考えるので、順番を逆転させて構成し直した資料を次回総会で報告する。

議長 他に意見がなければ、地区別懇談会の件は以上とする。

協議第4号 第四次国分寺市農業振興計画策定検討委員会委員の選出について
議長は協議第4号を議題とすることを告げ、事務局に説明を求めた。

事務局 国分寺市では、令和7年度末に第三次国分寺市農業振興計画の計画期間が終了する。国分寺農業の継承・発展に向け、社会情勢と当市の農業を取り巻く環境を考慮した新たな計画策定に伴い、策定検討委員会を立ち上げるので、農業委員会から2名選出いただくよう協議願いたい。

議長 従前の選出どおり、農業委員会からは会長と会長職務代理としたいが良いか。

須崎職務代理 責務を全うするので、よろしくお願いいたします。

○ 日程第6 報告事項

報告第1号 農地法第3条の3の規定による届出に係る専決処理について
報告第1号について、事務局より資料を基に4件報告した。

報告第2号 農地法第4条第1項第7号の規定による届出に係る専決処理について
報告第2号について、事務局より資料を基に2件報告した。

報告第3号 農地法第5条第1項第6号の規定による届出に係る専決処理について
報告第3号について、事務局より資料を基に4件報告した。

報告第4号 令和6年度農業功労者表彰候補者の推薦について
事務局 各地区で対象者がいたら、10月8日（火）までに事務局へ推薦を願いたい。

議長 現時点で候補者がいれば、この場で協議する。委員から意見を集いたい。

協議の結果、次の者を推薦することを全員一致で確認した。なお、推薦に当たっては地区担当委員及び事務局が訪問し、推薦承諾依頼をする。

推薦者 原 和正氏（戸倉地区）

報告第5号 今後の日程について

報告第5号について、11/3 令和6年国分寺市表彰式への鈴木会長の出席を確認した。11/3 国分寺市農業祭の詳細について、9/26農業祭運営委員会で提示されることを確認した。

○ 日程第7 その他

- ・ 農業委員会視察研修の日程について

議 長 令和6年第10回農業委員会総会は、10月18日(金)午前9時30分
国分寺市役所書庫棟会議室にて開催する。

上記の会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和6年9月20日
国分寺市農業委員会
会長 鈴木 秀男

署名委員

署名委員